

あす
未来のために、
いま
現在を変える

鶴 翔

Kaku

Shou



つるほ庸介

後援会会報 No.23

〒640-8323

和歌山市太田3丁目7-12 ヤマイチ第一ビル1F

TEL:073-472-3311 FAX:073-472-3334

E-mail:info@tsuruho.com

改革マインドは消えず

参議院議員 鶴保 庸介



国土交通副大臣は今月末にはどうやら辞任ということになるらしい。この稿をものしている現在、まだ辞令はきていないが、新聞によるとほとんどの副大臣、政務官は取り替えるそうなので、ここではそういうことにしておく。

それにしてもこいつが厄介なのである。

内閣改造の噂は、早くから参議院選挙後とか、年末とか、二転三転して伝わってきた。そのため私としては、やり残した仕事を作りたくない

という思いから、夏頃からは時間的なことから結論を出せないような新たなテーマには、やや及び腰になっていたのは偽らざる事実である。

例えば、老朽化インフラ対策には、省内に対策室をつくっただけでは、まだまだ足りない。これから技術的に新たなものが、たくさん対策室に持ち込まれることになるだろう。それを実用化することこそ大切なはずである。そのためにはいままでのやり方だと三年から四年はかかる。それでは「新」技術ではなくなってしまう。

プロフィール

鶴保庸介（つるほようすけ）

参議院議員（和歌山県選出、自由民主党）

昭和42年（1967）2月5日大阪府生まれ。東京大学法学部卒。○衆議院議員秘書を経て平成10年7月参議院選挙初当選、平成14年国土交通大臣政務官（2期）、平成18年参議院厚生労働委員長、平成22年参議院決算委員長、平成23年参議院議院運営委員長、平成24年国土交通副大臣。○自由民主党自動車整備議員連盟・日本インドネシア国会議員連盟・芸術議員連盟各事務局長ほか

おもな内容

- 鶴保副大臣・改革へのイニシアティブ
- 観光立国推進を成長戦略の柱に
- 衆・参で答弁！ 耐震法改正等で尽力
- UNWTO総会で観光振興策説明
- 台風被災地、インフラ整備状況等を視察

まう。また、より低コストで実行しうる新しい技術をどんどん取り入れることによってこそ、財政にも優しい政治ができるはずだ。

だが、実際にはそう簡単にはいかない。そうした新しい技術を実用化するまでには基本的に相当な「手間暇」がかかる。そのうえ事故でも起こしたら大変な責任問題で、役所担当者はどうしても前例通りにする方が無難だということになり、チャレンジできない。

そんなお役人を責めるのは簡単であろうが、根本問題として、このような現状を変える仕組みを作ることこそが政治の仕事である。

その「手間暇」を軽減してやる。新技術の認定コストを提案者に負担させるなどによりコストを削減する。結果責任は担当者個人に負わせない。

（2ページへつづく）

あるいはコスト削減に貢献した役人個人は顕彰してあげる、などの方法が考えられるが、これらの仕組み作りは、いずれも一週間や二週間のできるものではない。

もっと長くやらせてくれ、と猟官運動をしたくもなるが、副大臣なんてそんなもんよ、といわれれば、大臣がいっしょやるのに、遠慮もなくバンバンと新しいことを、でしゃばってやったことの不明を恥じねばならないのかもしれない。

あとはひと時を共にした役所のみなさんが、鶴保が言っていたので、やっているふりをしていただけ、とならないことを願うのみである。

副大臣在任中で最も実績を残し得たのは観光分野であろう。

特にASEAN諸国からの観光ビザの発給要件緩和に関しては、内外のご協力を得たとはいえ、正真正銘わが観光部局の総力戦の成果であったと言える。ラオスで行われたASEANプラス3（中国、韓国、そして日本）の帰国途上の観光庁長官とのやり取りでは、正直、「できたらいいな」程度のものであったが、私は自

らも鼓舞する意味で、常に先頭に立ち続けたつもりである。

「できなくてもともと」

少々不謹慎と言われればそれまでであるが、中国や韓国との関係が悪化する中で、どうやってインバウンドを1000万人以上の成長路線にのせることができるのか。

こう言って他省庁との副大臣会議の開催、さらに党役員、最後に官邸の応援まで引き出すことができて実際にこぎつけられたものと自負している。

宿題多い、さらに挑戦

この間、観光庁職員のみなさんは、よくついてきてくれた。毎日のように副大臣室に報告や相談にきてくれていたのは、正直ありがたかった。自分もそれによって次々に課題を解決していかなければ、という気持ちになったからである。

それに気を良くして、観光アクションプランを作り、現在の我が国の観光分野におけるほぼすべての課題を、そこに書き込んだ。

ローマ字の道路標識改変などがマ

スコミで多く取り上げられたが、それ以外にも留学生による日本文化等の検証制度をもうけたり、WiFiやクレジットカードなどの観光インフラを整備したり、外国人旅行者の免税対象品目を拡大して消費拡大につなげたり、といった野心的な課題が列挙され、それぞれの担当が実現化の努力をしてくれている。

そして国連の観光機関UNWTOに代表を送り、ゆくゆくは拠出金最高額の国として、UNWTOの事務局長を日本人が堂々と務めることをめざしたいと思う。

他にも書ききれないことがたくさんある。中古住宅市場の活性化は私のライフワークであると同時に、この国に最も必要な社会福祉予算の削減に寄与するものだと思う。

災害が頻発する今日、国土の守りを担う優良な地元建設業者が必要最低限度でも生き残って行くためにはどうすれば良いか。入札制度の改正を幹部職員が集まって真剣に討論してくださったことは心に焼き付いている。

海外での建設事業では、国内のゼ

ネコン各社が軒並み損失を出していることを多くの方は知らない。損失の大きな要因としては当該国の商慣習への無理解というものがある。またひどい時には日本の企業同士で叩き合いをしていることすらある。情報の共有化が必要であるが、各社を呼んで聞いてみると、その仕組みがないか、足りない。そこで外務省と合同のプラットフォームを作ろうということになっている。

営繕、鉄道、物流、貨物、河川、下水道。それぞれにわがままを言わせてもらった。それらは優しく(?)受け止められ、誠実に返してもらったと思う。

ある時、副大臣室を訪ねてくださった幹部職員に、「副大臣の改革マイルドはまだまだ消えませぬ」と、矢継ぎ早に宿題をお願いした時に、嫌味を言われたことがあったが、私はそう言ってもらって嬉しかった。皆がそのマイルドで、日本復活を目指せば、恐れるものはない。

「やれる！」というのが、この国の合言葉になる時までは、私の役割が終わることはないと思っています。

ハンドボールから和歌山、そして日本を元気に

私が和歌山県ハンドボール協合理事長に就任したのは、「中東の笛」間

題によって北京五輪アジア予選の再試合が行われ、日本中がハンドボ―

ルに注目した年でした。

翌年、当時県ハンドボール協会名

和歌山県ハンドボール協会 理事長 田中 秀和

誉顧問であった鶴保先生を、是非とも日本の流れとともに和歌山県の流



鶴保事務所から「何か書け」とのご下命があった時、真っ先に思いついたのが、鶴保議員の地元にある根来寺のことだった。戦国時代には根来衆と呼ばれる1万余の僧兵を擁し、紀の川周辺から泉州にかけて一大軍

根来衆と鉄砲伝来



れも変えていただきたいという思いから、和歌山県ハンドボール協会会長に推薦したいと考え、先生の快諾を得て、会長に就任していただくこととなりました。

学生時代はハンドボールで活躍され、政治の世界に入られてからも常にスポーツを愛されて、2009年5月27日に設立された国会議員によるハンドボール推進議員連盟の中心として事務局長の職務にあたられ、さらには、公益財団法人日本ハンドボール協会特任副会長としても多大なる活躍をされている鶴保会長は、真にスポーツを愛する政治家といえます。

2008年から4年間、和歌山県で開催された日本車椅子ハンドボール競技大会という、障がい者と健常

者との交流と友情を深める目的も兼ねた大会で、必ず開会式に参加していただき、選手・役員に対して温かい言葉で挨拶をされる姿は、まさにそれをあらわす姿として心深く感じることがありました。

和歌山県では、1971年の黒潮国体以降2順目となる「紀の国わかやま国体」が、2015年に開催されます。最大目標である総合優勝を目指して、本県一丸となって頑張っているところですが、和歌山県のハンドボール界における現状は、まだまだ目標にはほど遠く、更なる努力

大阪府トラック協会 会長 坂本 克己

事勢力を誇った寺院だ。根来衆といえば本土で最初に火縄銃をつくった集団として有名だが、この原稿を書くに当たって、地元・岩出市の資料を調べていると、私が覚えていたことと少し違っていたので驚いた。

私は「根来衆と鉄砲」についてこう記憶していた。

「天文12年（1543年）8月、大隈半島の南方にある種子島に一隻の中国船が漂着した。乗員100余人の中に3人のポルトガル商人がおり、鉄砲という新兵器を所持していた。島主の種子島時堯（ときたか）はこの鉄の筒から火の玉が飛び出る

新兵器の威力に驚き、大枚2000両（現在の金額で約1億円）をはたいて、これを2挺買い付けた。当時、種子島には紀州・根来寺の僧侶が傭兵として滞在中だった。この根来の僧兵も新兵器に大いに関心を示し、時堯に頼み込んで2挺のうち1挺を譲り受け、根来に持ち帰った」

この私の記憶と岩出市の資料のどこが違うかというと、資料では根来の僧兵が種子島に滞在していたのではなく、鉄砲伝来の情報を得た根来寺がいち早く現地に僧兵を派遣、一挺を譲り受けたこととなっている点だ。

が必要であります。また、競技を開催する会場には建て替えを必要とするものもあり、これについては国土交通副大臣の要職につかれている鶴保会長のご尽力のもと実現に向かっています。

「紀の国わかやま国体」を機にスポーツ王国和歌山を築くために、また、2020年東京五輪・パラリンピック開催決定を受け、スポーツから日本を元気にするために、鶴保庸介先生には、和歌山県さらには日本において、益々の御活躍を祈念しています。

大した違いはないようだが、鉄砲伝来以前から根来衆が種子島に傭兵として雇われていたという方が、ロマンがあり、かつリアルではないかと思う。第一、種子島の難破船に鉄砲という新兵器が積んであったなどという情報があるが、当時、そんなに早く紀州に届いたのだろうか。届いたとしてもそんな正体不明の新兵器を買い付けるため、はるばる種子島まで僧兵を派遣したのだろうか。

私はやはり種子島に根来の傭兵がいた、という説をとりたい。
なお、末尾ながら、鶴保先生の益々の活躍を期待してエールを送りたい。

鶴保国土交通副大臣

改革へイニシアティブ

鶴保庸介国土交通副大臣は、アベノミクスで好調なスタートを切った第2次安倍内閣の一翼を担い、成長戦略の柱の一つ、観光立国の推進のために内外を駆け巡り、さらに南海トラフ・首都直下地震対策、社会資本の老朽化対策、入札制度改革、中古住宅市場の活性化などの重要課題に。アクセル全開で取り組んでいます。その疾走の記録です。

観光立国推進を成長戦略の柱に

現場の声を政策に反映させるための観光立国推進ワーキングチームを立ち上げて座長として活動する鶴保副大臣。5月20日には、①ASEAN諸国からの観光客へのビザ発給要件の緩和②旅行目的で訪れる外国人富裕層に1年以上の長期滞在を可能にする制度創設③免税対象商品の拡大・手続き簡素化などの対策を盛り込んだ中間報告を取りまとめました。6月11日の第2回観光立国推進閣僚会議で説明して、同14日に閣議決定されたアベノミクスの「第三の矢」の成長戦略のなかに、この推進策が正式に組み込まれました。

7月に初の月間100万人突破！

鶴保副大臣が進めている観光振興策が成果を上げ始めています。今年7月の訪日外国人旅行者数が、前年同月比+18・4%の100・3万人を記録。中国、韓国の観光客が低調のなかで単月では史上初めて100万人を突破したのです。

タイ、マレーシア、ベトナム、イ

ンドからの訪日客が過去最高を記録し、数字を押し上げました。鶴保副大臣が尽力してきた「ASEAN諸国からのビザ発給要件の緩和」の効果がてきめんに出た結果です。

【鶴保のひと言】「年間1000万人」の目標達成に向けての大きな一歩になりました。今後も多くの外国人客に来てもらうための環境整備を進めていきます」



6月11日の観光立国推進閣僚会議で中間報告を説明（隣が稲田特命担当相、根本復興相）

外国客にわかる道路標識を！

TV報道番組でも改善策説明

8月18日（日）朝、鶴保副大臣はフジテレビの「新報道2001」に出演。訪日外国人が旅行しやすい環境づく

鶴保議員の

活動日誌

- 3月21日 参・国土交通委員会答弁、隅田川駅鉄道貨物輸送力増強事業完成式、社会資本の老朽化対策会議
- 22日 水産基本政策懇談会、千葉NT・成田空港視察
- 23日 交通系ICカード全国相互利用サービス開始セレモニー
- 24日 和歌山県森林・林業活性化促進県民大会、神出政巴海南地区決起大会
- 25日 本会議、国土省政策調整懇談会、ボーイング787型機に係る省内連絡会議、インテグ787型機に係る省内連絡会議、衆・東日本大震災復興特別委員会答弁、（社）住宅生産団体連合会創立20周年記念祝賀会
- 26日 参・国土交通委員会答弁、東京メトロ・九段下駅他視察、東京メトロとの懇親会
- 27日 水産政策推進協議会総会、衆・経済産業委員会答弁、第4回国土省観光立国推進本部WG、第4回東北観光博「感謝の集い」懇親会
- 28日 水産部会、副大臣室にてレク&面談
- 29日 地域の建設産業及び入札契約のあり方検討PT準備会合、本会議
- 30日 桜を見る会@和歌山城
- 31日 一般国道168号「本宮道路」開通式典、第9回孫市祭り、サッカー連盟の方々と
- 4月1日 国土省政策調整懇談会、ボーイング787型機に係る省内連絡会議
- 2日 国土強靱化総合調査会、副大臣室にてレク&面談
- 3日 日本・ベトナム友好議員連盟懇談会、衆・国土交通委員会答弁、第2回クールジャパン推進会議、外務副大臣・松山まさじ君を励ます会
- 4日 第5回副大臣会議、政務三役打合せ会
- 5日 北朝鮮に関する幹部会議、本会議、道路局との懇親会
- 6日 在京当番
- 8日 国土省政策調整懇談会、ボーイング787型機に係る省内連絡会議
- 9日 国土強靱化総合調査会（公財）建設情報技術センター設立記念講演会後の名刺交換懇親会
- 10日 国土強靱化日本を強くしなやかに②出版記念会、捕鯨議員連盟総会、観光立国



外国人客をいかに増やして経済成長に結びつけるか。フジテレビ「新報道2001」で課題や対策を説明

りのためにローマ字併記の道路案内標識を英語併記にするなど、検討してきた課題や対策を説明しました。

その2日後には国会議事堂周辺の標識を切り替える作業が始められ「国会正門前」は「Kokkaiseimon」から「The National Diet Main Gate」というように改善されました（国道部分。都道部分は約半年後の予定）。さらに9月11日には「Koeln」を

「Park」にするなどの標識の統一基準と地方自治体などと連携して主要観光地で標識を変更していくことなどを発表。鶴保副大臣の旗振りで、矢継ぎ早の改善が進められています。

南海トラフ等の地震対策でもWG座長として取りまとめ

国交省は7月1日、南海トラフ巨大地震や首都直下地震に備える対策本部を立ち上げ、省をあげての議論を始めました。

これは中央防災会議（内閣府）が進めている大地震の被害想定や政府の行動計画に連動して国交省が担う役割を明確にしていくもので、ここでも鶴保副大臣が「対策計画策定ワーキンググループ」の座長として、救急救命や復旧対策の議論を主導。8月22日には、発災後の「応急活動計画」と地震に備える「戦略的に推進する対策」を柱とする巨大地震対策の中間とりまとめを発表しました。政府内でも国交省の救命や復旧の役割が大きいだけに副大臣の手腕が、評価、期待されています。

インフラの老朽化対策も急務「笹子トンネル」の悲劇防ぐ

鶴保副大臣の提案によって国交省に社会資本の老朽化対策会議が設置

されたことは前号で報告しました。

この対策も待ったなしです。

しかも全省あげて取り組むべき喫緊の課題であるため、4月4日に首相官邸で開かれた第5回副大臣会議で、鶴保副大臣は観光立国の推進策とともに、このインフラ対策の協力や検討を各省庁に要請しました。

昨年12月の笹子トンネル崩落事故のような悲劇を防ぐために、大地震や台風などの被害を小さくするためにも、道路や橋、公共の建物などの老朽化対策は、全省庁、全自治体が共通の危機感をもって取り組まなければならない急務の課題です。

鶴保副大臣の要請、提言に対し、総務省の柴山副大臣などから賛同、協力の発言がありました。政府一体となった取り組みが期待されます。



上：南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策推進本部（第1回）及び対策計画策定ワーキンググループ（第1回）の合同会議（7月1日） 中：防災訓練でもリハーサル！9月1日の国交省総合防災訓練。2号館14階防災センター 下：副大臣会議でインフラ老朽化対策の要請（4月4日）

11日	推進WT、鯨料理を囲む懇談の夕べ
12日	国交省臨時幹部連絡会、多摩NT視察
13日	衆・予算委員会分科会答弁、国土交通副大臣・鶴保副大臣と明日の日本を語る会
14日	緊急災害対策本部（地震対応）
15日	神出政已出席、県武術太極拳連盟定期総会、桃山町森脇鉄工の花見
16日	衆・予算委員会分科会答弁、経協インフラ戦略会議、二階俊博先生の大使館国金塔産業勲章を祝う会
17日	首都圏外郭放水路視察、水・国土局と関東整備局との懇親会
18日	国交省政策調整懇談会、ボーイング787型機に係る省内連絡会議、観光立国推進WT、土地・建設産業局懇親会
19日	政務三役及び事務方幹部との打合せ会、大臣から建設業団体に対する技能労働者への適切な賃金水準の確保等に関する要請同席
20日	衆・国土交通委員会答弁、臨時国交省地方局長等連絡会
21日	地元挨拶まわり
22日	白浜エアポートクリティウム表彰式、ラフェスタ・パーティー
23日	国交省政策調整懇談会、ボーイング787型機に係る省内連絡会議
24日	観光立国推進有識者会議、地域の建設産業及び入札契約制度のあり方検討会、国交省観光立国推進本部WG、第2回災害に強い国土のランドデザイン勉強会
25日	衆・国土交通委員会、平成25年観光関係功労者国土交通大臣表彰式 水産基本政策小委員会
26日	JR西日本福知山線列車事故献花式・慰霊式、第2回国交省観光立国推進本部、国交省政策調整懇談会、ボーイング787型機に係る省内連絡会議、六本木ヒルズ10周年レセプション
27日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
28日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
29日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
30日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
31日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
1日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
2日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
3日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
4日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
5日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
6日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
7日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
8日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
9日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
10日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
11日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
12日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
13日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
14日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
15日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
16日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
17日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
18日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
19日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
20日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
21日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
22日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
23日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
24日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
25日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
26日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
27日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
28日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
29日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
30日	海外視察（マレーシア・インドネシア）
31日	海外視察（マレーシア・インドネシア）

衆・参の委員会では答弁

耐震改修促進法等の改正に尽力

鶴保副大臣は、国交省提案の法律・改正案の成立にも尽力し、衆・参の委員会では法案の主旨説明や答弁を行ってきました。

力を注いだ一つが改正耐震改修促進法（建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部を改正する法律）で不特定多数の人が利用する大規模建築物（病院、店舗、ホテル、旅館など）や学校、老人ホームなどの避難弱者が利用する建築物の耐震診断を義務付けるものです。

改正法は衆院で4月23日、参院で5月22日に全会一致で可決され、5月28日に公布されました。

ほかに特別警報の実施も盛り込んだ「気象業務法及び国土交通省設置法の一部を改正する法律」や「水防法及び河川法の一部を改正する法律



参院国土交通委員会で答弁、耐震改修促進法採択へ（5月21日）

の施行期日を定める政令」などを成
立させました。

世界に向けて

わが国の観光振興策を説明

鶴保副大臣は、8月25日・26日南アフリカのザンビアとジンバブエの国境にあるビクトリアフォールズで156カ国と6地域の代表団が参加して開かれた第20回UNWTO（国連世界観光機関）の総会に出席。「持続可能な国際観光振興のためのビザ要件緩和の重要性」などをテーマにした閣僚級ラウンドテーブルで、日本再興戦略の下にASEAN諸国を対象とするビザ要件緩和など、わが国が進めている取り組みを報告。まさに鶴保副大臣が力を注いできた政策で、各国代表からも要件緩和など、各政府をあげての取り組みが必要であることなどが述べられました。

UNWTO事務局長や

中国国家旅游局長とも会談

鶴保副大臣は同日、タリブ・リファイUNITO事務局長と会談し、日本の取り組みを説明しながら、UN

WTOとの関係を強化していきたいと伝えました。

同事務局長からは、副大臣の総会への出席はUNWTOひいては南部アフリカ諸国に重要な意味を持つこと、UNWTOをより積極的に活用してほしい旨の発言がありました（同事務局長は9月12日以来日、関係強化が進んでいます）。

鶴保副大臣は8月26日、総会に参加していた中国国家旅游局（観光局）の邵琪偉局長とも会談しました。

日中観光交流の回復に向けた協力
昨年12月に延期になった日中韓観光
大臣会合の再開などについて意見交
換。両国関係が冷え切っている時期
だけに意義深い会談になりました。



世界最大級の滝で知られる景勝地、ビクトリアフォールズで開かれたUNWTO総会で説明

リファイ事務局長と会談



- | | |
|-----|---|
| 10日 | 衆・国土交通委員会答弁
県トラック協会・青年協議会総会後の経営研修会にて講演
山形・福島視察（山形県内道路状況の視察等） |
| 11日 | 山形・福島視察（福島復興再生総局訪問
国交省政策調整懇談会「海上保安の日」祝賀会） |
| 12日 | 衆・国土交通委員会答弁、日本医師会・公益社団法人移行記念祝賀会、日本電設工業協会第63回定時総会懇親会、建設業関係11団体春の叙勲祝賀会 |
| 13日 | 銀座ユビキタス視察、地域の建設産業及び入札制度のあり方検討PT準備会合、本会議、書葉会 |
| 14日 | 衆・東日本大震災復興特別委員会答弁、副大臣室にてレク＆面談 |
| 15日 | 本会議、衆・国土交通委員会答弁、第2回中古住宅の流通促進・活用に関する研究会、古住宅の整備局との懇親会 |
| 16日 | 県病院協会第71回通常総会懇親会、青年部主催「副大臣就任記念コンペ」表彰式 |
| 17日 | 金光教西住教会天地金乃神大祭、県理容生活衛生同業組合第57回通常総代会、海南市戦没者追悼式、NPO法人きらめき紀の川との意見交換会、県連「参議院自民党並びに世耕弘成選挙対策会議」 |
| 18日 | 観光立国推進WT、第6回社会資本メンテナンス戦略小委員会、都ト社会協会 |
| 19日 | 総会、懇親会、国交省政策調整懇談会 |
| 20日 | 衆・国土交通委員会答弁、都ト社会協会 |
| 21日 | 審議会、交通政策審議会第12回技術部会 |
| 22日 | 日本道路建設業教定時総会懇親パーティー、第二阪和国道建設促進和歌山市議会議員連盟要望活動に伴う意見交換会 |
| 23日 | 衆・国土交通委員会答弁、本会議、耐震改修促進協議会後の国会関係挨拶 |
| 24日 | 衆・国土交通委員会答弁、燃油価格高騰経営危機突破全国総決起大会、B787省内連絡会議、老朽化対策推進室コアメンション会議、国交省和歌山県人会総会 |
| 25日 | 本会議、水産コアメンション会議、海外建設協会総会後の懇親パーティー、住宅団体関係同懇親パーティー |
| 26日 | 大総会・京都視察（淀川下水防・大阪府地防防災総合演習、毛馬排水機場、毛馬閘門、淀川大堰、嵐山歩行者移動支援サービスピス、嵐山小水力発電、桂川下流部掘削工事） |
| 27日 | かど博文後援会国政報告会並びに懇親会、小規模多機能型住宅「モモ」内覧、テレビ和歌山インタビュー
国総研・土木研・建研・国土地理院視察 |



全米リアルター協会（全米最大の不動産関係団体）のゲーリー・トーマス会長ほかの訪問を受けて懇談（5月31日）



駐日イラン・イスラム共和国大使公邸を中曽根会長らとともに訪問。レザー・ナザルアーハリ特命全権大使と会談（6月3日）



ネパール国のラム・クマール・シュレスタ観光・民間航空省大臣との懇談会に出席（6月4日）



参議院ASEAN議員交流推進議連による「駐日ASEAN諸国大使との懇親会」に出席して挨拶（6月17日・ホテルニューオータニ）



ASEAN各国駐日大使との昼食会に出席（6月28日・帝国ホテル）



台湾の李鴻源内政大臣一行が表敬訪問（7月22日）



日・ASEANの観光交流を深める会に出席・挨拶（8月5日・東京プリンスホテル）



チュニジア国ジャメル・ガムラ観光大臣の表敬訪問を受け、観光交流の促進について意見交換（9月11日）

●ドバイ視察、香港では意見交換
鶴保副大臣は、総会出席前の8月23日、24日、UAEのドバイ首長国を訪問。現地日系企業と懇談、中東における建設市場の現状や課題について意見交換し、日系企業等施工のドバイ・メトロなどを視察しました。また8月27日には香港を訪問し、日本政府観光局（JNTO）香港事務所を訪問し、日系関連企業代表者とも会談、香港からの訪日旅行の現状とその促進のための課題などについて意見交換しました。



8日 福岡出張（矢部川・沖端川激甚災害対策特別緊急事業着工式、UR住宅・博多港）
7日 観光立国推進WT、福岡出張（国道202号春吉橋視察、意見交換会）
6日 第7回副大臣会議、和歌山県政府提案・要望に係る説明会、日本不動産ジャーナリスト会議にて講演、水防法及び河川法の一部を改正する法律成立お礼会
5日 観光立国推進WT、福岡出張（国道202号春吉橋視察、意見交換会）
4日 参・国土交通委員会答弁、ネパール国観光・民間航空省ラム・クマール・シュレスタ大臣との懇談会、建設産業専門団体連合会総会後の懇親会
3日 水産コアメンバー会議、第3回災害に強いグランドデザイン勉強会
2日 第7回副大臣会議、和歌山県政府提案・要望に係る説明会、日本不動産ジャーナリスト会議にて講演、水防法及び河川法の一部を改正する法律成立お礼会
1日 参・国土交通委員会答弁、ネパール国観光・民間航空省ラム・クマール・シュレスタ大臣との懇談会、建設産業専門団体連合会総会後の懇親会
31日 全米リアルター協会ゲーリー・トーマス会長表敬訪問、参・国土交通委員会委員長理事との昼食会、県土地家屋調査士政治連盟と公共嘱託登記士地家屋調査士協会総会後の懇親会、県トラック協会総会後の懇親会
30日 全米リアルター協会ゲーリー・トーマス会長表敬訪問、参・国土交通委員会委員長理事との昼食会、県土地家屋調査士政治連盟と公共嘱託登記士地家屋調査士協会総会後の懇親会、県トラック協会総会後の懇親会
29日 本会議「クルーズの振興のためのワンス・トップ窓口」の設置にかかる連絡調整会議、大日本猟友会第75回通常総会にて挨拶、全国建設業協会総会後の懇親会
28日 長崎幸太郎先生他との懇親勉強会・第1回次世代の住宅産業と地域ネットワークのあり方を考える会にて講演、参・国土交通委員会答弁、第1回国土交通省海洋の利用に関する技術開発推進本部、トラックドライバークンテスト優勝者の総理表敬訪問同席
27日 第15回TOUR of 熊野大会「熊野山岳コース」スターティングセレモニー、紀美野町国政報告会、アートのキープ第1回ジョイントライブ、ホテルの鑑賞会
26日 切目川ダム定礎式、足立水管理・国土保全局長を囲む昼食会、印南町長・町議他との意見交換会、花光雅三氏・堅田氏他10名程みなへ町ミニ集会
25日 国交省政策調整懇談会、ボーイング787型機に係る省内連絡会議、駐日イラン大使他との会食
24日 参・国土交通委員会答弁、ネパール国観光・民間航空省ラム・クマール・シュレスタ大臣との懇談会、建設産業専門団体連合会総会後の懇親会
23日 水産コアメンバー会議、第3回災害に強いグランドデザイン勉強会
22日 第7回副大臣会議、和歌山県政府提案・要望に係る説明会、日本不動産ジャーナリスト会議にて講演、水防法及び河川法の一部を改正する法律成立お礼会
21日 観光立国推進WT、福岡出張（国道202号春吉橋視察、意見交換会）
20日 福岡出張（矢部川・沖端川激甚災害対策特別緊急事業着工式、UR住宅・博多港）

淀川水防・大阪府地域防災 総合演習で激励巡視！

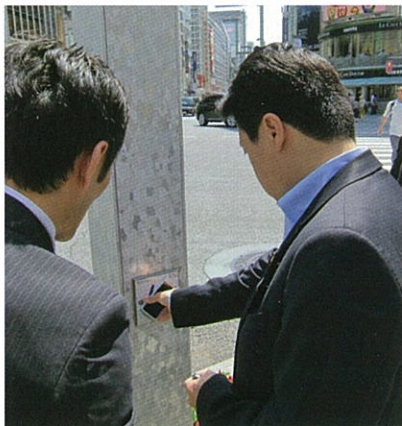
南海トラフの巨大地震による津波や台風、豪雨などの水災害被害の軽減をめざして大阪市の淀川左岸河川敷（豊里大橋下流）で5月25日に実施された「平成25年度淀川水防・大阪府地域防災総合演習」（国交省、大阪府、大阪市主催）で挨拶、陸自・府警・消防の三者協同の救助訓練や水防団の水防工法訓練、学生ボランティアの土嚢作りなどを巡視、激励しました。防災関係機関と住民が連携する素晴らしい演習でした。

観光名所、京都・嵐山の 先進的な取り組みを視察

5月25日、京都の観光名所・嵐山で、桂川の小さな堰の水の落差で発電する「小水力発電所」とバリアフリーの経路案内「歩行者移動支援サービス」などを視察しました。

近くの渡月橋の欄干を灯す電力も供給している小水力発電は自然エネルギー活用方法として注目され、ミヤンマーのアウンサンスーチーさんも4月に視察して話題になりました。

嵐山地区は、国交省の「ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」の実験エリアの一つ



銀座でユビキタス端末を使い（左）被災前の桂川で（中）力を込めて演習開始挨拶（右）



で、高齢者、車椅子利用者、外国人などの移動にバリアフリーの経路を案内。副大臣も携帯端末を手に観光地を歩きました。（右ページのよう）に台風で洪水被害。1日も早い復旧を！

東京・銀座でユビキタス視察

5月15日、銀座で「東京ユビキタス計画」の実証実験を視察。ユビキタス・コミュニケーション（UC）という携帯端末でナビゲーションや観光情報の配信を行うもので、いつでもどこでも、誰もが簡単に情報にアクセスできる「ユビキタス社会」の実現をめざして都庁や上野動物園などでも行われている実験です。銀座では路上を含め街中をカバーしているため、観光客、外国人旅行者も活用でき、注目を集めています。

福岡で矢部川水系の激甚災害 対策特別緊急事業着工式に

昨年7月の九州北部豪雨で大きな被害が出た矢部川・沖端川の河川激甚災害対策特別緊急事業着工式が6月8日、福岡県柳川市で行われ、国交省を代表して挨拶。堤防強化、河道掘削など5カ年計画で進めていきます。事業説明後、津留橋上流右岸で小川洋福岡県知事らと鉄入れを行いました。

28日	府省庁副大臣級会議、世耕弘成決起大会 及び各国駐日大使との昼食会、全日本トラック協会総会後懇親会、日本旅館協会通常総会後懇親会、全日本不動産協会及び不動産保証協会定時総会後両協会合同懇親会
29日	地元挨拶まわり 紀の川市平池大賀ハス「観蓮会」、佐々木洋平総決起大会（花巻）
30日	
1日	第1回南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策推進本部及び「対策計画策定ワーキンググループ」、観光立国推進有識者会議 「日刊建設工業新聞」入札制度改革について取材
2日	
3日	中国大使との昼食会
4日	世耕弘成出席式・街頭演説、大江康弘出席式・街頭演説、法案成立お祝い会 副大臣室にてレク＆面談
5日	
6日	地元挨拶まわりと選挙応援 第2回南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策本部対策計画策定WG
8日	
9日	副大臣室にてレク＆面談 JRR北海道への安全確保に係る指導、副大臣室にてレク＆面談
11日	
12日	地元挨拶まわりと選挙応援 森哲男さん（前田辺市議・真寿苑園長）を囲む会
13日	
14日	森まさこ（いわき・双葉）合同総決起大会
15日	地元挨拶まわりと選挙応援 平成25年国土交通大臣表彰式（優良職員に対する激励・業績表彰）、大江康弘個人演説会、南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策本部対策計画策定WGコアメンバー会議、中古住宅チームとの懇親会
16日	
17日	大江康弘個人演説会、自動車整備振興会の方々と昼食会兼勉強会、総合政策局との懇親会
18日	
19日	沖縄選挙応援（企業・団体まわり） 県マリンスポーツ連盟「マリンスポーツフェスティバル2013 in WAKAYAMA」、中谷電気工業株式創立40周年記念祝賀会、狹友会和歌山支部設立50周年記念式典、世耕弘成事務所前街頭演説
20日	
21日	吉田廣毅（旭日小緑章）受章記念祝賀会、世耕弘成先生ハンズオン
22日	台湾・李内政大臣一行表敬訪問、国交省政策調整懇談会、南海トラフ巨大地震・

「ニュータウン」の課題 千葉、多摩・永山団地を視察

高度経済成長期に「ニュータウン」として建設された公団住宅が老朽化と住民の高齢化という深刻な問題を抱えています。その現状を確認するために鶴保副大臣は3月22日、UR千葉ニュータウン、4月11日に東京の多摩ニュータウンの永山団地を視察しました。

永山団地では70歳以上の高齢者世帯が7割、ひとり暮らし世帯が3割を占めています。

住み慣れた団地に住み続けるためにも、さまざまな行政の支援が不可欠です。関係者からのヒアリングも行った副大臣はさつそく新たな施策の検討を指示し、その取り組みを始めました。



地元の小倉衆議院議員、安部多摩市長、上西UR都市機構理事長らと永山団地を視察（上）ICカード相互利用（中）JR貨物隅田川駅下



交通系ICカードの相互利用

「スイカ」（JR東日本発行）や「PiTaPa」（関西私鉄）など全国10種類の交通系ICカードの相互利用サービスが3月23日に始まり、全国の駅の半分以上の4275駅の自動改札機を1枚のカードで通過できるようになりました。同日午前、JR東京駅でサービス開始を記念するセレモニーでテープカットを行いました。

JR貨物の隅田川駅、 輸送力増強

3月21日、平成21年度から国の補助事業として進められてきたJR貨物「隅田川駅鉄道貨物輸送力増強事業」の完成式に出席。20輛編成コンテナ列車に対応できるように改良された荷役ホーム等を視察しました。

金沢で

「車座ふるさとトーク」

3月20日、鶴保副大臣は石川県金沢市の「車座ふるさとトーク」で地元の12名の方々と対話をしました（金沢学生のまち市民交流館）。

これは安倍内閣の大臣・副大臣・政務官が地域に赴いて現場のひとと少人数で対話し、生の声を聞いて政策に活かそうとの取り組みで、今回は「北陸新幹線金沢開業による観光まちづくりへの期待」をテーマに、外国人客をどう迎えるかなど、ざくばらんな話し合いを行いました。



- | | |
|-----|---|
| 23日 | 首都直下地震対策本部対策計画策定WG
志帥会特別総会、国交省渇水対策本部、
国交省幹部連絡会 |
| 24日 | 地元挨拶まわり |
| 25日 | 森ビル虎ノ門開発現場視察 |
| 26日 | 中建審・社整審基本問題小委員会、長崎
幸太郎先生他との懇親勉強会・第2回次
世代の住宅産業と地域ネットワークのあ
り方を考える会 |
| 27日 | 和歌山ネットワーク輸送協同組合総会
在京当番 |
| 28日 | 南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策
本部対策計画策定WG |
| 29日 | 参議院自民党会長選挙投票開票、特別総会
政務二役会議、後援会夏季軽井沢会合 |
| 30日 | |
| 31日 | |
| 1日 | 八月
後援会夏季軽井沢会合、佐藤事務次官・
菊川技監・石津国交審送別会、井手観光
庁長官送別会 |
| 2日 | 本会議 |
| 3日 | 本会議 |
| 4日 | 地元挨拶まわり |
| 5日 | 南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策
本部対策計画策定WG、国交省政策調整
懇談会、政務三役懇親会 |
| 6日 | 黒澤会、副大臣室にてレク&面談 |
| 7日 | 本会議、国土交通委員会「いにしへの
宿・伊久試泊会（伊勢市）」 |
| 8日 | 副大臣室にてレク&面談 |
| 9日 | 南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策
本部対策計画策定WG、テレビ和歌山ピ
デオレター撮影 |
| 10日 | 初盆参り、やよい苑「彌栄祭」夏の陣、
たんぽぽ作業所夏祭り、樋口徹氏を偲ぶ会 |
| 11日 | 紀南サイクリング（熊野の山満喫サイク
リング） |
| 12日 | 初盆参り |
| 13日 | フジテレビ「新報道2001」打ち合わせ |
| 14日 | 副大臣室にてレク&面談 |
| 15日 | 副大臣室にてレク&面談 |
| 16日 | 地元挨拶まわり |
| 17日 | フジテレビ「新報道2001」に生出演、
天王寺高校和歌山県同窓会、紀の川市・
市民まつり |
| 18日 | |
| 19日 | 副大臣室にてレク&面談、大規模地震・
津波対策アドバイザー会議、国交省政
策調整懇談会 |
| 20日 | 志帥会研修会（高野山）、観光庁との懇
親会 |
| 21日 | 海外出張（ドバイ・ジンバブエ・
香港） |
| 22日 | 第41回フェローフォーラム勉強会
在京当番 |
| 31日 | |

地域とともに



早期完成めざし杭打ち（御坊市日高川ふれあい水辺公園、隣は仁坂知事）

南海トラフの大地震や台風などの災害対策や観光振興のためにもインフラ整備が急務の和歌山にあって、湯浅御坊道路の有田ノ御坊4車線化が決定。6月22日、県とネクスコ西日本が事業化を先行させる有田ノ南紀田辺の着手式で鶴保国交副大臣が祝辞を述べました。

県内高速道路で4車線化が完了しているのが和歌山ノ有田。その先は民主党政権が白紙に戻す暴挙を経ての今回の改めての事業化で、副大臣はその意義と「災害に強い地域社会構築のために必要な社会資本の整備の引き続き取り組んでいく」と強調。

災害に強い地域社会を！ 湯浅御坊道路 4車線化事業着手式で挨拶



狭窄部の整備計画を聞き（中村紀の川市長らと）

6月2日、県が印南町で進めている切目川ダムの本体工事の定礎式で祝辞。切目川の氾濫を防ぎ周辺の畑に水が供給できると期待されているダムです。式には地元小中学生も参加、「定礎」の石とともに生徒らが願いを書いた石を一緒に埋めました。平成26年度中の完成予定。

切目川ダム定礎式で



工事の安全を祈願し…（切目川ダム）



平成20年度着工の工事が完成し…

紀の川市の国道24号井田交差点から県道粉河那賀線へ南北につながる「市道井田中ノ才線」が完成。6月23日の開通式で挨拶とテープカット。国の社会資本整備総合交付金事業の一環で全長約2キロの片側1車線の2車線。今回、工事区間約700メートルが完成し国道まで開通しました。

紀の川市道 井田中ノ才線開通式

6月2日、紀の川の岩出狭窄部を視察。昨年12月に今後30年間の目標が策定された「紀の川水系河川整備計画」にもとづく大災害時の被害防止・軽減策の説明を受けました。

紀の川・岩出狭窄部を視察

50th
おかげさまで50周年
KIRII

KIRII 株式会社 桐井製作所

確かな技術で創られた空間には安全・安心・美しさがある。

<http://www.kirii.co.jp/>

本社 〒100-0011 東京都千代田区千代田1-1-1 帝国ホテルタワー18F TEL: (03)3539-6000 FAX: (03)3539-6660

活動報告

方言は「おもしろいでえ」

和歌山県内に伝わる方言を解説した『あがらの和歌山・方言てほんまにおもしろいでえ』の出版記念会で、お祝いの挨拶。同書は、文化の力で、まちおこしに取り



組む「紀州文化の会」(大江寛代表)が毎年出版している「あがらの和歌山」シリーズの第7弾。収録約500語の意味や主な使用地区・使用例、近隣の土佐弁、尾鷲弁、十津川弁などの類似性も紹介されています。

また熊野参詣などを通じて、京から多くの言葉が伝えられてきた歴史から、約240語が京言葉との共通語として解説されています。方言から文化を知る力作です。

〈3・9 和歌山市・アバローム紀の国〉

プレゼンターとして登場

白浜空港に隣接する旧空港滑走路で、自転車のロードレース「白浜エアポートクリテリウム」が開かれ、トップレベルの選手が強風



の中を全力で疾走。また、「1時間耐久ママチャリレース」や小学生の部など、一般参加部門もあり、人気ボールグループ「ル・ヴェルヴェッツ」のミニライブも行われた表彰式では、鶴保副大臣がプレゼンターとして登場、それぞれ

部の入賞者に賞状と副賞を。スピードと熱気と楽しさにあふれたイベントでした。〈4・21〉

トラック協会で講演

県トラック協会食料品輸送部会が開いた研修会で、「物流業界の現状と課題について」と題して講演。〈5・11 和歌山市・ルミエール華月殿〉

同日、同協会青年協議会総会後の講演会にも登壇、熱く語りかけました。〈同〉



ILLUSTRATED BY H.KUROGANE

ゆるみ止めナットの総合メーカー



株式会社 富士精密
Fuji Seimitsu Co., Ltd.

本社 〒561-0845 大阪府豊中市利倉3丁目14番15号
TEL: (06)6862-3112(代) FAX: (06)6862-9880

東京支店 福岡営業所 広島商品センター





⑦



⑥



⑤

ゲートキーパーに敬意

県理容生活衛生同業組合第57回通常総代会に出席。自殺予防のゲートキーパーとしても活動されているみなさんに敬意を表して祝辞を。

〈5・19 和歌山市〉

県立わかやま館 ⑤

紀の川のきらめきを守ろう！

紀の川の素晴らしい環境、豊かな恵みを守るためにさまざまな活動をしているNPO法人きらめき紀の川の人びとの意見交換会を開きました。

その会場が、紀の川や紀の川大堰に関する資料や、魚が川中の魚道を行き来する様子を見ることが出来る「水ときらめき紀の川館」でした。季節によっては鮎の遡上



⑧

も観察できる国交省所管・入館無料の素晴らしい施設です。みなさんどうぞ。

〈5・19 和歌山市〉 ⑥

パレードで大会を応援

・走行距離約320キロのプロの自転車公道レース「第15回 TORO 熊野」が5月30日から4日間にわたって行われ、熊野山岳コースを走る大会3日目に激励の挨拶を行いました。

鶴保副大臣は今回は市街地をオープンカーで回るパレードで大会を応援。選手たちはその日、屈指の難コース、丸山千枚田も颯爽と走り抜けました。

〈6・1 熊野市〉 ⑦

青洲の里で大賀ハスを

世界初の全身麻酔による乳ガン摘出手術に成功した華岡青洲の偉業をしのびながら楽しく学ぶ施設「青洲の里」で可憐な花を咲かせている大賀ハス（古代ハス）を武部勤元自民党幹事長、中村紀の川市長らと観賞。この里では毎年10月、青洲時代の衣装の時代行列で知られる「ようおこしなして青洲まつり」が開かれます。みなさんも、いかがですか。〈6・23〉 ⑧

官公庁の方へ 楽天の官公庁オークション 公有財産売却・公売
庁内の不要品をインターネットオークションで売却しませんか？

R 楽オク
Rakuten Auction



不要品を、楽天の官公庁オークションで売却してみませんか？

官公庁オークションで不要品を売却すれば、いままで費用をかけて処分していたものが新たな歳入に変わります。どんなものにも欲しい人がどこかに必ずいます。インターネットなら、全国の人に物件を紹介することができます。

■官公庁オークションなら、売れるまで、料金は発生しません

基本料金	出品料	落札後の手数料
¥0	¥0	落札額の2.8% (税抜)

導入実績

【公有財産売却】内閣府様、文部科学省様、農林水産省様
【公売】国税庁様、門司税関様、和歌山県様 他70機関以上

詳しくは、こちらからお問い合わせください

<http://auction.rakuten.co.jp/event/public/guidance/>

電話：050-5817-7520 (10時～18時) メール：auc-public-sales@mail.rakuten.com



戦没者追悼式で献花

海南市遺族連合会主催の「戦没者追悼式」に参列して献花を。戦後68年、戦没者の方々のご冥福と高齢になられている遺族の方々の健康を、心よりお祈りいたしました。

〈5・19 保健福祉センター〉 9

観蓮会で挨拶

「野鳥の楽園」として知られる平池緑地公園(紀の川市貴志川町)でも3年前から栽培を始めた大賀ハスが見事に育ち、今年初めて「観蓮会」を開催しました。貴志川中学校吹奏楽部のみなさんの演奏などで大いに盛り上げられた会でお祝いの挨拶を。

〈6・30〉 10

今年も元気に夏祭り

知的障害者の社会参加と自立を支援する生活介護施設・たんぽぽ



作業所の夏祭りに今年も参加し、多くの人たちと元気を共有する祝辞を。

〈8・10 紀の川市〉 11

熊野の風を切って

NPO法人SPORTS PRO DUCE熊野主催の「熊野の山満喫サイクリング」に参加。御浜町ふれあい公園をスタート、山岳コースをしっかりと走り切りました。

途中、昼食のバイキングもあり、まさに楽しさが満喫できるイベントでした。

〈8・11〉 12

藍綬褒章受章で祝辞

橋本商工会議所会頭・畑野富雄氏の藍綬褒章受章祝賀会が橋本商工会館で開かれ、正面席の畑野ご夫妻に、仁坂吉伸県知事らとともに祝辞を。

〈8・31 橋本市〉 13



気持ちよく目覚めた朝の
特別な幸福感を、あなたの毎日に。
シーリーベッド。

製品に関するお問い合わせは
全国のシーリーベッドショールームまで

株式会社 シーリージャパン 0120-770-366
http://www.sealy-bed.co.jp

■ 本社/東京ショールーム
〒107-0061 東京都港区北青山2丁目
13番5号 青山サンクレストビル2F
東京・外口銀座線 外苑前駅3番出口より徒歩2分

東京ショールーム(2F) 銀座線
ベルコモンズ 外苑前駅
R246 赤坂

■ 大阪ショールーム
〒542-0085 大阪府中央区心斎橋筋2-7-18
プライムスクエア心斎橋5F
地下鉄御堂筋線 心斎橋駅48出口より徒歩4分

大阪ショールーム(5F) 大丸 クロスステル大阪
心斎橋駅 御堂筋 なんば駅

■ 名古屋ショールーム
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-20-9
三菱ビル1F
名古屋地下鉄有線久屋大通り出入口すぐ

名古屋ショールーム(1・2F) 大井町線
セントラルパークオアシス 名古屋テレビ塔

■ シーリーベッド スリープギャラリー(15カ所)
札幌/盛岡/仙台/郡山/新潟/金沢/高崎/水戸/横浜/長野/静岡/豊川/岡山/小倉/福岡

■ シーリーベッド アウトレットショップ(5店舗)
阿見店 ☎029-886-8830/入間店 ☎042-902-5338 ※期間限定店出/土岐店 ☎0572-53-2608/滋賀竜王店 ☎0748-36-1533 /りんくう店 ☎072-468-9047

シーリーベッドは、ザ・リッツ・カールトン東京やコンラッド東京、フォーシーズンズホテル、シェラトン・ホテル&リゾート、ザ・ウィンザーホテル洞爺リゾート&スパなどの一流ホテルで数多く採用されています。



森哲男さんを囲む会
(7.13 紀伊田辺シティプラザホテル)



長崎幸太郎先生他との朝食勉強会
(5.30)



農政勉強会副大臣就任のお祝い会
(3.9 和歌山市・割烹久宝)



和歌山市議会議員・松井のりひろ議員活動
10周年励ます後援会の集い (8.4 アパローム)

鶴の間



交流写真館



桜を見る会
(3.30 和歌山城)



第5回天王寺高校和歌山県在住者同窓会
(8.18 グランヴィア)



紀美野町国政報告会
(6.1 かじか荘)



二階俊博先生の大韓民国金塔産業勲章を祝う会
(4.15)



志帥会高野山研修
(8.20)



後援会海南地区懇親会
(6.23 保健福祉センター)



後援会青年部主催「副大臣就任記念コンペ」表彰式
(5.18 ロイヤルパインズ)

KONOIKEグループは、高い品質のサービスを提供し、
世界の人々の幸福と安全で安心な社会の実現に役立つ
プロフェッショナルサービス集団を目指します。



鴻池運輸株式会社

Konoike Transport Co.,Ltd.

本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町2-6-8 TEL 06-6271-4600(代表)

代表取締役社長 鴻池忠彦

■グループ会社
株式会社エコーバージョン
風通社株式会社
風テック株式会社
関西運輸株式会社
株式会社キャリア・サービス
株式会社Kランドエクスパート
株式会社Kランドサービス
株式会社Kスカイ
ケービーエス株式会社
コノイケ・エアポートサービス株式会社
コノイケ・エクスプレス株式会社

コノイケ・エンジニアリング株式会社
コノイケ・クルー・ロジスティクス東北株式会社
コノイケ・シンギング株式会社
コノイケ・ビジネス・マネジメント株式会社
鴻池メカニカル株式会社
鴻池ロジスティクスネットワーク株式会社
此花運輸株式会社
佐野運輸株式会社
島屋興産株式会社
株式会社昭和倉庫
千代田機業工業株式会社
株式会社ニチン

日本空輸株式会社
北新工業株式会社
前川運輸株式会社
KONOIKE ASIA (INDIA) PVT.LTD.
KONOIKE ASIA (THAILAND) CO.,LTD.
KONOIKE COOL LOGISTICS (THAILAND) CO.,LTD.
KONOIKE-E STREET,INC.
KONOIKE-EURO LOGISTICS (BANGLADESH) LTD.
KONOIKE EXPRESS (THAILAND) CO.,LTD.
KONOIKE-GENERAL,INC.
KONOIKE-PACIFIC CALIFORNIA,INC.
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING (S) PTE LTD.

KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING (USA),INC.
KONOIKE VINATRANS LOGISTICS CO.,LTD.
PKI MANUFACTURING & TECHNOLOGY,INC.
PT. KONOIKE TRANSPORT INDONESIA
VINAKO FORWARDING CO.,LTD.
鴻池要組要物流(江蘇)有限公司
鴻池運輸(香港)有限公司
鴻池国際貨運(深圳)有限公司
鴻池物流(上海)有限公司
青島遠洋鴻池物流有限公司

蓄えてきた力、今こそ全開放し

日本を取り戻す先導役になれ！と

国土交通副大臣 鶴保庸介君と明日の日本を語る会

●アベノミクスを推進！

第2次安倍内閣がダッシュ鋭く始動し、鶴保副大臣もその一翼を担って精力的に活動を展開していた4月12日、恒例の集い、新春「国土交通副大臣 鶴保庸介君と明日の日本を語る会」が、東京シエラトン都ホテルで開かれました。

第一部は、「謎解き日本経済・アベノミクスの『奇跡』はなぜ起きたか」という早稲田大学・若田部昌澄教授の講演。若田部教授は、浜田宏一内閣府参与、岩田規久男日銀副総裁などとともにアベノミクスの「第一の矢」である「大胆な金融緩和」を説いてきたリフレ派論客として知られ

ています。

本会報でもデフレからの脱却を何度も強調してきた鶴保副大臣にも、わが意を得たり、の講演内容でした。

第二部懇親会でも鶴保副大臣は多くの人に励ましていただき、内閣の一員として、これまで蓄えてきた力をフルに発揮して、「第二の矢」(民間投資を呼び起こす成長戦略)に進んでいるアベノミクスの先導役になれる！との激励を受けました。

写真上右から順に、挨拶をいただいた西川太一郎荒川区長(中央)と説得力ある講演の若田部教授。県連会長の二階俊博元通産大臣(衆議院議員)、岸宏一参議院議員、中川郁子衆議院議員、東京後援会の西村秀之会長(シーリージャパン社長)



編集後記

- Q. 2020年オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることになりましたね。
A. 本当に良かったですね！日本で開催される久々のビッグイベントに胸が熱くなります。
Q. 外国からのお客さんも増えるでしょう？
A. そうですね。外国人観光客を増やすために、鶴保副大臣(2013年9月20日現在)は本号で紹介したようにASEAN諸国からの入国ビザの要件緩和など、さまざまな策を講じています。「2013年の訪日外国人1000万人」達成からさらに「観光立国」という成長戦略の一環として「5年後をめどに訪日外国人2000万人」の大きな目標も掲げ、免税対象商品の拡大などの環境づくりに力を注いでいます。オリンピックがその観光立国推進の追い風になることは間違いないでしょうね。ただ、東京を訪れる客が、その時や次の機会に他の道府県を訪れてもらえるように、リピーターにつなげていくような戦略立ても必要です。観光一つ取っても2020年に向けて課題はたくさんあります。みなさんの知恵を集めてこの機会をしっかりと活かしていきたいですね。(K)

●写真による活動報告も行っています。

ホームページもぜひご覧ください。
<http://www.tsuruho.com/>

鶴保庸介事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館313号

TEL.03(6550)0313 FAX.03(6551)0313
E-mail: info@tsuruho.com

